

会からのお知らせ

◎ 平成12年9月定例会「第10回東村山雑学講座」の案内

日時：9月2日(土) 15:00～16:30

場所：東村山ふるさと歴史館、視聴覚室

演題：『作家の眼から見た人間の生と死』

講師：山崎 光夫氏(早大S45年教育学部卒) 当会会員 新田次郎賞受賞作家

医学関係に造詣が深く「精神外科医」「名人芸 長く強く生きる」「元気の達人」などの著書を出してきた山崎さんに生と死に関する話題をお話し頂きます。

◎ 定例役員会

日時：9月2日(土) 13:00～13:30 発送準備(有志による)

13:30～15:00 役員会

場所：東村山ふるさと歴史館、(上記定例会と同じ)

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください

◎ 会員消息

○ 訃報

多田 貢さん(S31法) 68歳

7月4日薨去されました、心から哀悼の意を表します。

なお慶弔規定にもとづき、生花一基および弔電を贈らせて頂きました。

◎ 関連会合への出席

○ 校友会代議員会：6月26日(月)大隈会館

出席 木谷、久世 久保、三宅

○ 早稲田大学商議員会：7月8日(土)井深記念ホール

出席 大西、山下

○ 三多摩稲門連合会会長会：7月29日(土)京王プラザホテル多摩

出席 大西

なお、三多摩稲門連合大会は11月26日(日)17時30分～19時30分
於・京王プラザホテル多摩にて開催と決まりました。

◎ 大学関係役員の強化

125周年募金活動強化の意味もあり、大学より役員の増員の依頼がありましたので
下記のとおり就任することとなりました。

○ 大学商議員：従来の大西に加えて小亀、山下が就任しました。

○ 校友会代議員：従来の木谷、久世、三宅に加えて久保、当間が就任しました。

なお木谷さんは校友会本部付きとなり、本部役員として代議員も兼ねます。

早稲田大学125周年事業募金について

先月、先々月号でお知らせしましたように、早稲田大学では建学の理念「学問独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を実現するため創立125周年の記念事業として、インテリジェント教育研究棟2棟の建設、新学生会館の建設、大隈講堂の多機能型文化ホールへの再生を実施するための資金調達の募金活動を展開しています。

既に大学内では、教職員は毎年年収の1%を8年間寄付することとし、申し込みが始まりました。

(小亀 提供)

■西早稲田キャンパスがISO14001の認証を取得■

～環境にやさしいキャンパスを目指して～

6月2日、本学西早稲田キャンパスは、環境負荷の低減や循環型社会の実現に向けた環境マネジメントシステムが評価され、国際標準化機構（ISO）の定める国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。国内の大学での同認証取得は、武蔵工大横浜キャンパス、法政大学92年館、京都精華大学に続く4例目で、環境にかかわる学部等を擁しない既設の学部・大学院を中心とした大規模キャンパスとしては、初の認証取得となりました。

近年、本学では、環境教育、環境研究の推進、および環境負荷低減の様々な取り組みを行っています。活動の主な特徴として、(1)東京都との連携によるエコ・キャンパスづくり、(2)学生の環境関係サークルとの連携、(3)周辺商店街、大学生協などによる環境関連イベントとの連携、(4)廃棄物削減・分別回収・回収古紙再利用・リサイクル製品購入・省エネ運動に加え、環境問題に関するプロジェクト研究所の設置、環境関連科目の全学オープン科目化、環境問題連続講演会の実施、(5)新施設における低環境負荷型設備があげられます。1998年12月には、「エコ・キャンパス推進本部」を設置し、環境に配慮する広範な活動を実践してきました。これら組織的な活動の推進によって、社会に対し大学の姿勢を明確にし、客観的に評価され得る体制を確立するために、「ISO14001」認証の取得に取り組み、この度認定を受けることができました。

これまでも徹底した省エネや節水による経費節減を行っていますが、環境マネジメントシステムの構築により、教職員や在学生の意識がさらに向上し、昨年度は大幅な経費節減を達成しました。今後は、戸山、大久保、所沢、本庄キャンパスなどへの導入により、全学における環境マネジメントシステム体制の拡充に取り組む予定にしています。

■ユネスコと学術協定を締結■ ～世界初、大学との包括協定～

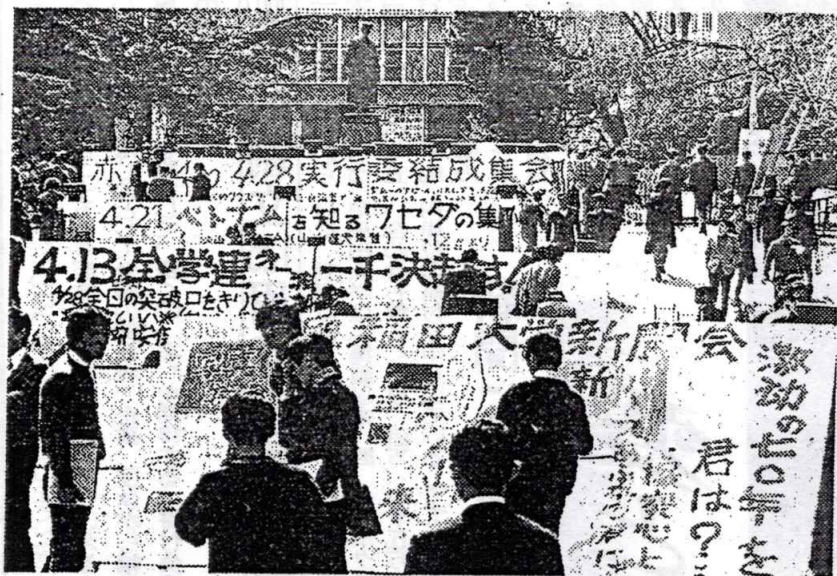
早稲田大学と国際連合教育科学文化機関[ユネスコ:United Nations Educational Scientific and Cultural Organization(UNESCO)]との間に学術交流協定が締結されました。これは、ユネスコが世界で初めて大学との間に締結した包括協定です。

ユネスコは、教育・科学・文化による世界各国間の協力を推進し、平和と安全保障に寄与することを目的として、1946年に国際連合の専門機関として設立され、現在188カ国が加入しています。本学との交流は、中川武研究室を中心としたカンボジアのアンコール遺跡修復プロジェクト(1994年～)、吉村作治教授を中心としたエジプト学研究所がカイロ近郊ダハシュールの古代墳墓発掘を実施したプロジェクト(1996年～)、山崎芳男研究室を中心とした世界遺産のハイ・デフィニション映像および音響データの伝送・記録を含む「文化のた

めの新技術」プログラム(1993年～)、の他さまざまな後援事業を通じて行われていました。また、本年度から全学オープン科目で、西村正雄教授が英語によるユネスコ関連講座「世界文化遺産とユネスコの活動」を開講しています。このユネスコが、初めて大学との包括協定を結ぶ相手として、世界の大学の中から早稲田大学を選んだのは、このような地道な成果が国際的に評価されたことによります。

この協定は、毎年初めに年次計画書を作成し3年毎に内容を見直し、ユネスコはプロジェクト毎に予算配分に努め、早稲田大学は学術的専門知識および技術的支援の提供を行っていくことになり、今後ますますの協力関係の拡大が期待されます。

大隈重信像前広場に立て看板が林立する学生運動が盛んだったころの早稲田大学キャンパス＝1970年4月



早稲田大学(東京都新宿区)のキャンパスで、創立者・大隈重信の銅像周辺に並ぶサークルなどの立て看板をめぐって大学当局と学生の押し問答が続いている。「景観を損ねる」として大学側が5月中旬から撤去を始めたのに対し、学生側が「林立する看板は早稲田文化の象徴で大切な表現の手段」と反発、撤去反対の署名活動に乗り出した。学生運動の看板がひしめいた大学紛争から30年。銅像前で持ち上がった「景観論争」は、その歳月の長さも映し出している。

【遠山 和彦】

「大隈さん」前、景観論争

立て看板は見苦しい? ワセダの文化?

大学生生活課によると、立て看板は学園紛争さなかに1970年ごろから生や卒業生らから「立て看板が無責任に放置され、見た看板については学生から西早稲田キャンパスの銅像「苦しい」「大量の木がごみ周辺は人通りも多く、大学になって無駄だ」などの声

が立てられることが多い。ところが最近、一部の学生や卒業生らから「立て看板が無責任に放置され、見た看板については学生から西早稲田キャンパスの銅像「苦しい」「大量の木がごみ周辺は人通りも多く、大学になって無駄だ」などの声

大学側「寂しい」の声も撤去

のシンボリックな場所のため、団体、サークルの立て看板の「メッカ」になった。銅像を囲むような形で看板が寄せられるようになった。これをめぐり、大学側は看板の撤去を始めた。今年4月の理事会で、銅像周辺に立て看板を設置することの多かつた計12のサークル、

返還に込んでいる。銅像周辺に立て看板を設置することの多かつた計12のサークル、



大学側による撤去で立て看板も少なくなった大隈像前

学生生活課によると、立て看板は学園紛争さなかに1970年ごろから生や卒業生らから「立て看板が無責任に放置され、見た看板については学生から西早稲田キャンパスの銅像「苦しい」「大量の木がごみ周辺は人通りも多く、大学になって無駄だ」などの声

部

ニュースの追跡・話題の発掘 03(3471)7242 / Ex-ル tokuhg@chunichi.co.jp

「第二の建学をめざす早稲田のために、あなたの愛と力をください」。早稲田大学が、二〇〇七年の創立百二十五周年記念事業に向け、異例ともいえる大々的な募金を展開している。卒業生をはじめとして全国の関係者、企業、団体から幅広く寄付金を募る「記念事業ファンド」を設立して、多くの「志」を期待する。寄付金集めに走る「都の西北」の事情は――。

2007年に創立125周年の早稲田大学

「創立一千年目にも変わらぬ、効果はあったようで、校友会もある」（広報室とぬ「私立大学」として輝きつづける、早稲田大学は「掲載以来、問い合わせも数多くあり、百万円単位の寄付を申し出ている。て「募金要項」を記したタ

新聞に全面広告など、大規模募金活動

があり、寄付を要請する。私学の雄とはいえず、大学が新聞の全面広告で寄付金集めをPRするのは「異例中の異例」（広告代理店）。それだ

「愛と力」求めていきます



大募金活動を開始した早稲田。大隈侯の表情は複雑だ。早大キャンパスで

イレクトメールを、早ければ今月中旬にも発送してさらなる徹底を図る。

「創立百二十五周年」という中途半端な数字にこだわらず、早稲田を創立した大隈重信侯の「人生百二十五歳説」に基づき、かつて大隈侯は「生

理学者の説によると、すべての動物は成長期の五倍の生存力を持っているという。人間の成熟期はおよそ二十五歳と

いつから、百二十五歳まで生きられる可能性がある」と述べている。以来「125」という数字は、早稲田にとって特別な意味を持つ。大隈講堂の高さは百二十五尺（約三十八メートル）、一九六三年には、大隈侯の生誕百二十五周年を祝う行事が開かれていた。そこで早稲田大学は今回の創立百二十五周年事業を「第二の建学」と位置づけ、「早稲田大学第一世紀宣言」を掲げて「未来に生まれ変わるワセダ」を強烈にアピールする。渡辺重範副総長（左）は「建学の精神に立ち返り、現在

『第二の建学』を強調

の早稲田の「志」を目に見えない形で明らかにするのは、社会的責任ではないかとの思いが、あの全面広告にもつながっている」と説明する。「ファンド」の創設については「財政面での意識改革だ」とした。最近六年間で約百八十億円の経費削減に成功した実績を背景に、四年ほど前から「募金推進室」を設置、この四月から正式に「募金局」に格上げして専門の職員が対応に当たっている。「隼（かい）より始めよ」とばかり、すべての教職員の年収の二割を二〇〇七年まで

「ワセダ精神にそぐわぬ」の声も

積み立てることも決定。「薬料の値上げはせずに自己金を確保するため」（広報室）という。これに寄付金加えて「記念事業」を成功せよというわけだ。早稲田はよく戦艦大和にえられる。「ずうたいがきつて小回りが利かないが一度加速すれば強い」（渡副総長）と自負する。加速最も重要なのが燃料調達（政改革と寄付金集め）ということだろうか。副総長はさらに「私学の」という立場にあぐらをかいたかもしれない。反省を込めて二〇〇七年に向けた具現的な大学像をはっきり示すウチの意識改革を分かたてたい」とも力説する。今のところ、募金作戦は調だが、「早稲田は慶応に比べて、固定的なイメージがい。いわばアイデンティティのないことが、早稲田の「インディティ」ともさる。それだけに、この大規模な寄付金集めについて、卒業生たちの中には「時代の流れなのかもしれないが、お金をください、とお願する早稲田」というのはちょっと抵抗がある」との声も。果たして卒業生たちに「ファンド」の創設が「進取の精神」と理解されるかどうか……。



早稲田大学が卒業生向けに郵送する募金案内

積み立てることも決定。「薬料の値上げはせずに自己金を確保するため」（広報室）という。これに寄付金加えて「記念事業」を成功せよというわけだ。

早稲田はよく戦艦大和にえられる。「ずうたいがきつて小回りが利かないが一度加速すれば強い」（渡副総長）と自負する。加速最も重要なのが燃料調達（政改革と寄付金集め）ということだろうか。

副総長はさらに「私学の」という立場にあぐらをかいたかもしれない。反省を込めて二〇〇七年に向けた具現的な大学像をはっきり示すウチの意識改革を分かたてたい」とも力説する。

今のところ、募金作戦は調だが、「早稲田は慶応に比べて、固定的なイメージがい。いわばアイデンティティのないことが、早稲田の「インディティ」ともさる。それだけに、この大規模な寄付金集めについて、卒業生たちの中には「時代の流れなのかもしれないが、お金をください、とお願する早稲田」というのはちょっと抵抗がある」との声も。果たして卒業生たちに「ファンド」の創設が「進取の精神」と理解されるかどうか……。

郷土史の会

今年第3回の郷土史の会を下記の日程で催しますので多数ご出席下さいますようにご案内申し上げます。

記

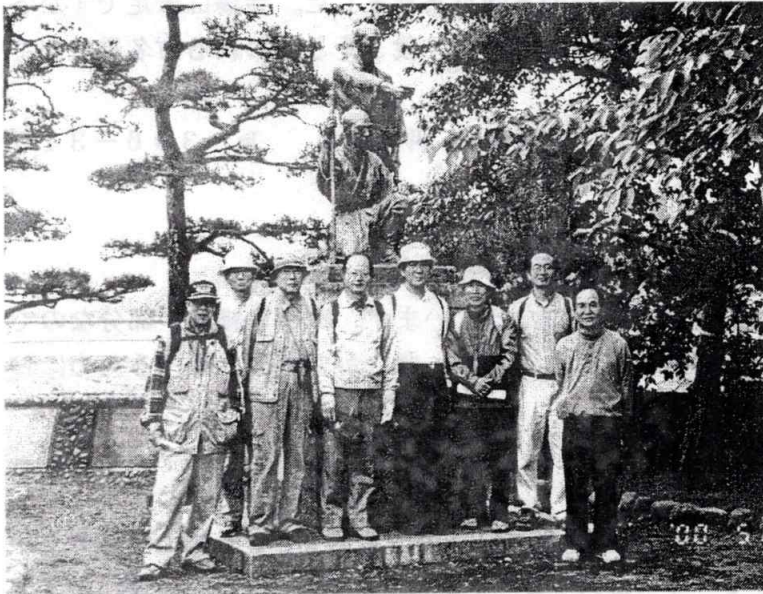
日時：平成12年9月24日（日） 14時～16時

場所：ふるさと歴史館視聴覚室

講師：成田 延雄氏（昭28理工）

テーマ：江戸時代の土木技術について

前回5月21日、伊藤友己氏（昭51政経）のご案内で玉川上水を羽村の起点から拝島まで歩き当時の工事の苦心のあとを偲びましたが、それらを含めてお話を頂きます。乞うご期待！！ なお、ご参考までに東村山ふるさと歴史館では夏の企画展として8月6日（日）



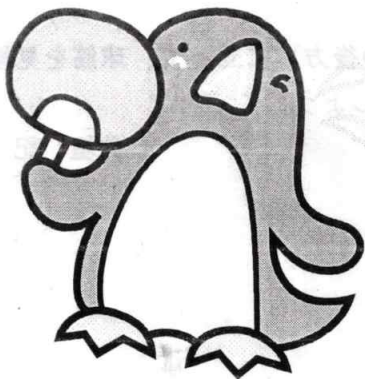
～9月10日（日）「かやぶき民家が伝えてきたもの—旧武藤家住宅主屋—」の紹介展示があります。（市報でも紹介されております）

羽村、玉川兄弟の像の前で

5月21日の玉川上水見学会の写真から（江藤氏撮影）

テニス同好会

幹事 当間 TEL 391-6023



8月度は、コートがヒートしており、健康面あるいは美容上からも好ましくありませんので お休みにします。涼しい風が吹き始めたらまたプレーを一緒に楽しみましょう。

9月をご期待下さい。

ゴルフ同好会

○夏休みゴルフ8月2日（水）富士CC（御殿場）で開催

猛暑の毎日ですが、元気いっぱいの会員5名と、デビュー戦を飾る木谷夫人、若さで飛ばす 井垣二世の二人のゲストを加えた2組が、涼風が快い御殿場の富士CCで「夏休みゴルフ」をおこないました。（詳細報告9月号をお楽しみに。）

○第8回会長杯コンペは10月8日（日）の予定。

立川国際CC（立川）または岡部チサンCC（本庄）での開催を予定しています。稲門会員 多数のご参加をお待ちしています。詳細は9月号でお知らせします。

○三多摩稲門会ゴルフ会11月8日（水）の予定

毎年恒例の三多摩稲門会ゴルフ会の日程の案内がありました。会場は未定ですが各稲門会から4名が参加して総長杯を競うものです。我こそと思われる方名乗り出て下さい。

世話役 井垣和太 Tel 396-310

0

○2000年JGAゴルフ規則から－3

2000年度は競技規則がいくつか改訂になっています。かなり細かい部分なので我々がプレーする分にはあまり影響有りませんが、どこかで蘊蓄を傾けるためにお役に立てて下さい。

プレーについての規則（2）

①規則14-2 球の打ち方：援助

これまでは、グリーン上に限って禁止されていたのですが2000年の改訂でコース上のどこであろうと、プレーヤーがストロークをしてる間は、「パットの線」や「ストロークの線」の後方線上やその近くに、自分のキャディ（またはパートナーやそのキャディ）が立つことをプレーヤーは許してはならないと改められました。

陰の声：これも前回（6月号）ご紹介した「クラブで球の後ろの草をトントンと押しつける」行為」をしていた本年超不調の某有名プロのために改訂されたことです・・・。

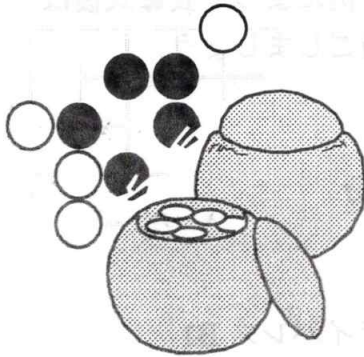
テレビを見てみると、いつも選手の後方（飛行線の後方）に立って、球筋を見極めていた高校時代からの友人キャディが映っていたでしょう。

（井垣 記）

囲碁・将棋の会

幹事：鈴木 国夫 TEL042-394-2052

：江藤 昌明 TEL042-391-4076



記

日 時：平成12年8月26日（土） 午後1時～5時

場 所：東村山市民センター第六会議室

参加費：無料

囲碁・将棋同好会は、8月で1周年を迎えますので、下記により記念大会を開催いたします。

会員の皆様奮ってご参加下さい。

尚、これまで将棋の部は参加者が少なかった為、まだ大会を開ける状態ではありません。

そこで今回は囲碁のみの大会とし、将棋の方は従来通りの方法で行います。

大会参加ご希望の方は、江藤（TEL/FAX 391-4076）あて、8月15日までにご連絡下さい。

園芸の会

幹事：三宅 TEL 394-5298

(再録) 土橋 393-5708



今年3回目の例会を下記の日程で催しますのご案内いたします。

日時：平成12年8月20日（日）14時～16時

場所：東村山市民センター第6会議室

今回は去る2月14日講師の藤澤博恭氏（昭29政経）からお分け頂きました「サギ草」を見事咲かせたかどうか苦心談等楽しい一時を過ごしたいと思います。多数ご参加下さい。

なお草花等の種苗の余分がありましたらお持ち下さいませ。

♣ 麻雀同好会

本年第三回麻雀大会を下記にご案内いたします。例によって表彰式後はまた懇親会で一杯やりながら楽しいひとときを過ごしましょう。
初参加の方お待ちしております、大歓迎です。

記

日 時：9月10日（日）12時30分

申込締切：9月2日（土）

場 所： マージャンM

本町4-12 アメニテイパレス B1

TEL: 397-5228

会 費：6千円（競技代、賞品代懇親会費用すべて含）

小野（391-9523）

田口（395-4077）

以上

編集局からのお知らせ

- ◎ 前号でお知らせしましたように当稲門会ニュースは編集作業のI・T化を進めております。その前提として、① 頁数を両面刷りで8頁とし、② 当面は一部原稿の送達および、一部紙面の割付けなどから着手して全紙面に及ぼすかたちで、既に具体化されつつあります。③ 全紙面I・T化の時期は、家庭などへのパソコンの普及度が短期間に40%を超すなど異常な程速いため、印刷屋さんが「原稿はメールで送って下さい。」という時期が近く来ると予測しております。

無理は禁物ですので着実に進めたいところですが、井垣さんや伊藤さんに期待するところ大で、次の総会以前にニュース紙面の総まとめを筆者から上記のふた方に移します。

同好会記事などの寄稿サイドの方々は、井垣さんか伊藤さんのいずれかに連絡をとって下さい。活字打上げ原稿をスキャンニングしてP・Cに取込む手法が個人でも出来る時代ですので、今まで通りで処理可能と思われます。ご相談下さい。（塩 見）